

## 平成 26 年度 事 業 報 告

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

本年度における会員現況と主な事業内容を以下項目別に報告する。

## 1. 会 員 状 況

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数 (A)	2015. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	20	20	0	20	0
終身会員	143	141	△ 2	120	21
正 会 員	3, 173	3, 089	△ 84	3, 137	△ 48
学生会員	828	794	△ 34	861	△ 67
(合計)	4, 164	4, 044	△120	4, 138	△ 94
賛助会員	204 社 (287 口)	208 社 (291 口)	4 社 (4 口)	202 社 (285 口)	6 社 (6 口)
特殊会員	85 社 (110 口)	84 社 (112 口)	△1 社 (2 口)	85 社 (110 口)	△1 社 (2 口)

## 2. 定款・規則等の制定・改正

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| (1) 選奨規則の改正                  | (2014. 10. 24) |
| (2) //                       | (2014. 12. 19) |
| (3) 栗屋潔学術奨励賞受賞予定者選定手続きの改正    | (2014. 10. 24) |
| (4) 代議員選出規則の改正               | (2014. 11. 28) |
| (5) 独創研究奨励賞板倉記念受賞予定者選定手続きの改正 | (2014. 12. 19) |

## 3. 機 関 誌 の 刊 行

- (1) 日本音響学会誌  
本期間は毎月 1 日 (1 号は 12 月 25 日) を発行日とし、次の 12 冊を刊行した。

70 巻 4 号～71 巻 3 号 (2014 年 4 月～2015 年 3 月)

巻 号	70 巻									71 巻			計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
本文ページ	78	84	36	58	68	42	48	52	48	52	58	60	684	
主 な 論 文 ・ 記 事	巻頭言									2			2	
	追悼文			2									2	
	音叉	2			2								4	
	論文	10 (1)	8 (1)	9 (1)	9 (1)	7 (1)	7 (1)	9 (1)	11 (1)	9 (1)	7 (1)	20 (2)	11 (1)	117 (13)
	技術報告		10 (2)											10 (2)
	研究速報		22 (6)				4 (1)	4 (1)	2 (1)					32 (9)
	寄書		7 (2)											7 (2)

特別講演					5 (1)								5 (1)	
招待論文		9 (1)											9 (1)	
解説 (小特集を含む)	59 (1)	21 (4)	20 (3)	39 (7)	19 (3)	22 (4)	27 (4)	30 (6)	28 (4)	35 (6)	30 (4)	38 (6)	368 (52)	
会議報告 (シンポジウム/活動報告)							7 (2)		2 (1)			2 (1)	11 (4)	
主な論文記事	連載企画										2 (1)		2 (1)	
	研究発表会報告					1					1		2	
	選奨記事・紹介記事	1		1		11							13	
	書評						1			1			2	
	研究会発表論文一覧					21							21	
	コーヒーブレーク	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	70巻総目次									4				4
	AST目次		2		1		1		1		2		2	9
	AST abstract		2		2		2		2		2		2	12
	学会記事等	3	3		2	1	2		3	1	1	2	2	20
	投稿規定										18			18
編集後記	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
会告	11	29	27	18	23	77	29	31	23	14	59	17	358	
広告	8	13	10	13	12	13	12	12	12	11	11	14	141	
発行部数	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	57600	
小特集タイトル	※1	※2		※3		※4		※5		※6		※7		

注 1) 欄中の ( ) 内数値は編数。

2) 会告の内容は、研究会開催案内、音響関係国内並びに国際会議、その他周知記事である。

※1 道路交通騒音の予測モデル

2 音響教育特集号

3 マイクロホンアレイの新しい技術展開

4 歌声の科学

5 低周波音に関する最近の話題

6 聴覚特性の理解に基づく音響電子透かし技術とその評価

7 音響学における未解決問題

(2) 英文論文誌 Acoustical Science and Technology

本期間は、2014年5月、7月、9月、11月、2015年1月、3月の各1日を発行日とし次の6冊をオンラインジャーナルとして刊行した。

Vol. 35 No. 3~Vol. 36 No. 2 (2014年5月~2015年3月)

Vol.		Vol. 35				Vol. 36		計
No.		3	4	5	6	1	2	
本文ページ		54	47	56	54	48	142	401
主な論文・記事	Paper	32 (3)	32 (3)	26 (3)	19 (2)	23 (2)	33 (4)	165 (17)
	Technical Report	7 (1)	6 (1)	6 (1)	9 (1)	7 (1)	9 (1)	44 (6)
	Acoustical Letter	12 (3)		7 (2)	12 (4)	11 (3)	36 (11)	78 (23)
	Foreword						1 (1)	1 (1)
	Tutorial			14 (1)				14 (1)
	Invited Review				5 (1)			5 (1)

Review							
Short Note		4 (1)					4 (1)
Translated Letter					4 (1)		4 (1)
和文誌英文目次	1	2	2	2	2	2	11
和文誌論文等内容梗概	1	3	1	2	1	1	9
Vol. 35 総目次				5			5
小特集タイトル						※1	

注) 欄中の ( ) 内数値は編数。

※1 Special issue on Ultrasonics

(3) 科学技術振興機構が主催する電子ジャーナル共同利用センター (J-STAGE) のサイト (URL <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ast/-char/en>) で、引き続き Acoustical Science and Technology 誌 (AST 誌) を公開した。

(4) 英文誌の投稿原稿種別に「Translated Letter」を新たに追加した。

#### 4. 研究発表会の開催

(1) 春季研究発表会は、2014年3月10日、11日、12日の3日間、日本大学駿河台キャンパスを会場として開催した。参加者実数は、1,409名である。

なお、学生並びに新たに研究発表会に参加した方を対象とするビギナーズセミナーを開催した。スペシャルセッションは9件、「人と機械における能動聴取」、「音楽音響と音楽関連産業」、「道路交通騒音の予測方法「ASJ RTN-Model 2013」」、「音声技術と画像・動画処理の接点—基本から適用事例まで—」、「光音響の非破壊検査ならびに医療応用」、「音を聴いて学ぶ教育プログラム」、「音声、言語などの障害とその支援」、「音の原点であるオーディオに迫る」、「災害等非常時屋外拡声システムの性能確保にむけて」で実施した。

また、賛助会員にポスターセッションの空き板を利用した製品等のポスター展示について、希望を伺い、希望する賛助会員のポスター展示を実施した。今回は5社から希望があった。

(2) 秋季研究発表会は、2014年9月3日、4日、5日の3日間、北海学園大学豊平キャンパスを会場として開催した。参加者実数は、993名である。

スペシャルセッションは8件、「音場の収録・再生における研究・現場の接点」、「風車騒音」、「音楽聴取・演奏を目的とした空間に関する最近の研究動向と将来展望」、「音によるシーン理解とその進展」、「音響学と言語聴覚士とのより緊密な関わりを目指して」、「音楽と音響教育」、「音楽と音のデザイン」、「知られざる耳鳴の実態とメカニズム」で実施した。

(3) 春季並びに秋季の発表分野、講演件数及び特別講演は次表のとおりである。

分 野 別		春 季	秋 季
講 演 件 数	音 声 A	96	60
	音 声 B	102	91
	聴覚/聴覚・音声	49	39
	電 気 音 響	100	76
	電気音響/聴覚(共催)	14	59
	音 楽 音 響	29	20
	騒 音 ・ 振 動	25	48
	建 築 音 響	33	76
	超音波/水中音響	79	68
	アコースティック・イメージング	11	11
	音 響 教 育	-	5
	音支援 (音バリアフリー)	-	6
	熱音響技術	6	10
音のデザイン	7	3	

「音声技術と画像・動画処理の接点 －基本から適用事例まで－」	3	－
「光音響の非破壊検査ならびに医療 応用」	6	－
「音を聴いて学ぶ教育プログラム」	14	－
「音声，言語などの障害とその支 援」	14	－
「音の原点であるオーディオに迫 る」	6	－
「災害等非常時屋外拡声システムの 性能確保にむけて」	5	－
「音によるシーン理解とその進展」	－	14
「音楽と音響教育」	－	11
「音響学と言語聴覚士とのより緊密な 関わりを目指して」	－	13
「音楽と音のデザイン」	－	6
「知られざる耳鳴の実態とメカニズ ム」	－	5
計	599	621

特別 講演	演 題	夜空に織りなす光と音の 花々	世界に広がる初音ミク現象
	講 師	宗家花火鍵屋 15 代目 天野 安喜子 氏	クリプトン・フューチャー・ メディア(株)代表取締役 伊藤 博之 氏

#### (4) 技術動向レビューの実施

2014 年春季は，2014 年 3 月 12 日に「スピーチプライバシーに関する技術動向」をテーマとして実施した。2014 年秋季は，2014 年 9 月 3 日に「音のデザインの現状と可能性」をテーマとして実施した。

## 5. 研究会の開催

(1) 本年度に実施した各研究会の活動概要は次表のとおりである。

研究会名	委員長 (敬称略)	開催回数	発表件数	備考
超 音 波	梅村晋一郎	11	109	電気音響，アコースティックイメージング，音響化学研究会との合同開催の分を含む
騒音・振動	坂本 慎一	10	56	アコースティックイメージング研究会との合同開催分の含む
電 気 音 響	菑木 禎史	8	141	超音波，音声，聴覚，音楽音響研究会との合同開催の分を含む
音 声	川端 豪	8	258	電気音響，聴覚研究会との合同開催の分を含む
聴 覚	赤木 正人	9	110	電気音響，音声，音楽音響研究会との合同開催の分を含む
建 築 音 響	羽入 敏樹	10	45	
音 楽 音 響	山田 真司	8	66	
アコースティック イメージング	中村健太郎	5	40	超音波，騒音・振動研究会との合同開催の分を含む
音 響 化 学	酒井 啓司	1	8	超音波研究会と共催
合 計		70	833	

- (2) 騒音・振動，聴覚，建築音響及び音楽音響研究会資料の年間購読の請求事務は学会事務局で実施した。

## 6. 国際交流

### (1) 国際会議の開催・準備等

ア. 2014年6月1日～6月5日に奈良において開催した第10回公衆衛生問題としての騒音に関する国際会議(ICBEN2014)に協力した。

イ. 2014年9月7日から4日間，ポーランド共和国クラコウ市において開催した第7回 Forum Acusticum においてポーランド音響学会とスペシャルセッション(Polish Acoustical Society -Acoustical Society of Japan Special Session Stream)を共催した。

ウ. 2016年11月27日～12月2日の間，ハワイ(ホノルル市, Hilton Hawaiian Village)において開催する第5回日米ジョイントミーティングの準備を行った。

- (2) 当学会が加盟団体となっている国際音響学会(ICA)，国際騒音制御工学会(I-INCE)の総会等に出席し，その活動に協力した。また，西太平洋地区音響学会(WESPAC)に協力した。

## 7. 音響規格の調査・作成

- (1) 当学会で原案作成を行った日本工業規格(JIS)に関して5年ごとの見直し作業を行った。

- (2) 音響に関する国際規格(ISO/TC 43, 同/SC1, 同/SC2, 同/SC3 及び IEC/TC29 関係)の審議を日本規格協会から委託され，それぞれの専門委員会(橘 秀樹委員長[ISO]，佐藤宗純委員長[IEC])において審議し，結果をとりまとめて報告した。

## 8. 調査研究委員会の活動

### (1) 道路交通騒音予測手法の調査研究

(株)高速道路総合技術研究所との共同研究により，「道路交通騒音の予測手法及び対策手法の研究」を実施した。道路交通騒音調査研究委員会(坂本慎一委員長)が作業を実施し，その成果を報告した。

### (2) 音響教育に関する調査研究

音響教育調査研究委員会(佐藤史明委員長)において，音響教育に関する現状の調査研究及び将来の音響教育のあり方等について審議を行った。なお，8月9日，10日の2日間，国立科学博物館「夏休みサイエンススクエア」に出展した。

### (3) 音バリアフリーに関する調査研究

音バリアフリー調査研究委員会(白石君男委員長)において，聴覚障害者のための会話システムの研究，デバイスの研究・開発・実用化及び普及を目的とした活動を行った。

### (4) 音と脳科学に関する調査研究

音と脳科学調査研究委員会(本田 学委員長)において，人と音と脳の関わりについての調査研究を実施した。

### (5) 熱音響技術に関する調査研究

熱音響技術調査研究委員会(渡辺好章委員長)において，既存のエネルギー変換システムが抱える廃熱の利用を目的とする調査研究を実施した。

### (6) 音のデザインに関する調査研究

音のデザイン調査研究委員会(岩宮眞一郎委員長)において，製品音，サイン音，サウンドスケープ，音環境等の音のデザインについて，包括的に調査研究を行い，音のデザインの必要性，可能性，将来性を発信することを目的とする活動を実施した。

### (7) 災害等非常時屋外拡声システムのあり方に関する調査研究

災害等非常時屋外拡声システムのあり方に関する技術調査研究委員会(鈴木陽一委員長)において，防災行政無線子局の屋外拡声システム等に関する調査研究を行った。

- (8) 軟骨伝導に関する調査研究  
軟骨伝導の基本メカニズムとその応用技術等について検討する軟骨伝導調査研究委員会（細井裕司委員長）において、軟骨伝導応用機器の普及、軟骨伝導音の校正法の規定等に関する調査研究を行った。
- (9) 生物音響に関する調査研究  
生物音響に関する研究の進歩と研究母体の拡大を図り、生物音響学分野の研究成果の発表、情報交換、連絡連携を目的とする生物音響調査研究委員会（力丸 裕委員長）を新たに設置した。同調査研究委員会は、2015年4月から活動を開始する。

## 9. 選 奨

- (1) 功 績 賞  
音響に関する学術又は関連事業に対し、特別の功績があると認められる方に贈られるもので、第38回功績賞受賞者は、鹿野 清宏、中川 聖一、松本 弘の3氏に決定した。なお、賞の贈呈は通常総会の際に行う。
- (2) 佐藤論文賞  
音響学に関し学術上及び技術上貢献するところが大きい研究業績を本学会誌に発表した方に贈られるもので、学会誌69巻1号～12号、70巻1号～12号並びにAST誌Vol.34 No.1～No.6, Vol.35 No.1～No.6に掲載された論文中から優秀な論文を選び、2015年春季研究発表会選奨会場(2015年3月17日)で本賞を贈呈した。

### 第55回佐藤論文賞受賞論文(敬称略)

- 「Finite-element analysis of acoustic streaming generated between a bending transducer and a reflector through second-order approximated forces」AST誌34巻5号(2013)  
和田 有司<sup>1)</sup>・小山 大介<sup>2)</sup>・中村健太郎(東工大)  
1)現 成蹊大学 2)現 同志社大学
- 「Development of edge-effect suppression barriers」AST誌35巻1号(2014)  
河井 康人・豊田 政弘(関西大)

- (3) 環境音響研究賞  
環境音響学の発展に貢献した、主として建築音響分野又は騒音分野に関連する一連の研究を対象とするもので、会員から推薦のあった候補者から優秀な者を選び、2015年春季研究発表会選奨会場(2015年3月17日)で本賞を贈呈した。

### 第6回環境音響研究賞受賞者(敬称略)

- 尾本 章(九州大学)  
「音場の計測・評価・制御に関する研究」

- (4) 独創研究奨励賞 板倉記念  
音声処理に関する独創的な研究を行った若手会員の方に贈られるもので、会員から推薦のあった候補者から優秀な者を選び、2015年春季研究発表会選奨会場(2015年3月17日)で本賞を贈呈した。

### 第10回独創研究奨励賞 板倉記念 受賞者(敬称略)

- 伊藤 信貴(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)  
「拡散性雑音に頑健なマイクロホンアレイ信号処理の研究」
- 小山 翔一(東京大学)  
「波動場の解析的表現に基づく音場收音・再現の研究」

- (5) 粟屋 潔学術奨励賞  
有為と認められる新進の研究・技術者の方に贈られるもので、2014年春季研究発表会並びに秋季研究発表会の講演者のうちの本賞受賞対象者から優秀な者を選び、2014年秋季研究発表会選奨会場(2014年9月4日)及び2015年春季研究発表会選奨会場(2015年3月17日)でそれぞれ本賞を贈呈した。

第 36 回粟屋 潔学術奨励賞受賞者（敬称略／2014 年春季研究発表会，4 名）

- 大石 康智（N T T コミュニケーション科学基礎研究所）  
「ガウス過程回帰の混合エキスパートモデルを用いた歌声 F0 軌跡の予測と生成」
- 濱村 真理子（九州大学）  
「音楽再生音の最適聴取レベルと音の大きさの評価における男女差」
- 森本 隆司（リオン(株)）  
「老人性難聴者における時間分解能の検討」
- 和田 有司（成蹊大学）  
「三次元空間における浮揚液滴計算 —粒子法と分布点音源法による超音波浮揚液滴形状のシミュレーション(2)ー」

第 37 回粟屋 潔学術奨励賞受賞者（敬称略／2014 年秋季研究発表会，5 名）

- 木谷 俊介（N T T コミュニケーション科学基礎研究所）  
「聴覚検知タスクにおける非関連音呈示の影響 - タスク負荷と非関連音の顕著性の効果 - 」
- 北村 大地（総合研究大学院大学）  
「Efficient multichannel nonnegative matrix factorization with rank-1 spatial model」
- 小泉 穂高（戸田建設(株)）  
「気柱共鳴を利用した吸音体に関する基礎的研究」
- トレビーニョ ホルヘ（東北大学）  
「Reproduced sound field measurements for a High-Order Ambisonic system of an irregular geometry」
- 橋本 佳（名古屋工業大学）  
「ニューラルネットワークに基づく音声合成における生成モデルの利用の検討」

(6) 学生優秀発表賞

春季又は秋季研究発表会において優秀な発表を行った学生会員に贈られるもので、2014 年春季研究発表会並びに秋季研究発表会の講演者のうちの本賞受賞対象者から優秀な者を選び、2014 年秋季研究発表会選奨会場（2014 年 9 月 4 日）及び 2015 年春季研究発表会選奨会場（2015 年 3 月 17 日）でそれぞれ本賞を贈呈した。

第 9 回学生優秀発表賞受賞者（敬称略／2014 年春季研究発表会，17 名）

松宮 翔（奈良先端科学技術大学院大学），千葉 祐弥（東北大学），中村 和寛（名古屋工業大学），木下 由貴（同志社大学），久保 理恵子（北陸先端科学技術大学院大学），益永 翔平（立命館大院），宮内 智（奈良先端大），鈴木 和博（近畿大），安枝 和哉（龍谷大院・理工学研），中村 友彦（東大院・情報理工），久保寺 祐季（学習院大学），井上 尚久（東大・新領域），赤松 亮（桐蔭横浜大院 工学研究科），中村 良平（東工大 精研），林 鷹太郎（明大理工），酒井 虹（東工大），濱村 真理子（九大・芸工）

第 10 回学生優秀発表賞受賞者（敬称略／2014 年秋季研究発表会，20 名）

落合 翼（同志社大学），神谷 翔大（名古屋工業大学），小林 和弘（奈良先端科学技術大学院大学），高宗 典玄（東京大学），林 知樹（名古屋大学），岩林 宏樹（同志社大学），佐野 和行（山梨大学），小野口 平（熊本大学），千葉 大将（筑波大学），村瀬 慶和（筑波大学），室田 勇騎（奈良先端科学技術大学院大学），保田 速人（早稲田大学），大戸 康平（九州大学），増田 京子（九州大学），熊谷 直登（千葉工業大学），遠藤 有紗（日本大学），小田嶋 祥太（東京工業大学），後藤 慎平（筑波大学），森 翔平（東京工業大学），粕谷 麻里乃（上智大学）

(7) 技術開発賞

音響に関する工学技術の進歩発展に特に貢献したと認められる本会賛助会員の代表者，賛助会員所属の個人，グループに贈られるもので，公募により推薦された候補の中から優秀なものを選んだ。なお，賞の贈呈は通常総会の際に行う。

第23回技術開発賞受賞者（敬称略）

○戸田建設(株)開発センター

「エッジ効果抑制型防音壁の実用化と建設工事現場への適用」

松岡明彦, 小林正明, 鈴木信也, 小泉穂高（戸田建設(株)開発センター）

○リオン(株)

「パワータイプの防水型補聴器 HB-W1RA の開発」

山口信昭, 伊東慶太, 齋藤 敦, 添田晃弘, (リオン(株))

#### (8) 学会活動貢献賞

本学会活動の活性化に多大な貢献があった若手の正会員又は学生会員を顕彰する目的で贈られるもので、今年度は次の6名を選定した。なお、2015年春季研究発表会選奨会場(2015年3月17日)で本賞を贈呈した。

第2回学会活動貢献賞受賞者（敬称略）

○上田 麻理（一般財団法人 空港環境整備協会）

○戸上 真人（(株)日立製作所）

○富来 礼次（大分大学）

○廣谷 定男（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）

○程島 奈緒（東海大学）

○安井 希子（松江工業高等専門学校）

### 10. 講習会、講演会及びセミナーの開催

#### (1) 講習会（敬称略）

事業委員会（片岡章俊委員長）が今年度を実施した講習会及び技術セミナーは以下のとおりである。

ア. 「音響技術のアプリ化とスマートフォンやタブレット端末への実装」

（第132回技術講習会）

期 日；2014年6月11日～12日 会場；全国家電会館

講 師；坂本真一（(株)オトデザイナーズ）、古晒貴光（(株)アブサ）

田中 勉（(株)アローズネクスト）

受講者数；42名

イ. 「音源定位と音源分離の基礎」（第133回技術講習会）

期 日；2014年6月26日～27日 会場；全国家電会館

講 師；浅野 太（産業技術総合研究所）

受講者数；24名

ウ. 「音響インパルス応答計測の基礎」（第134回技術講習会）

期 日；2014年8月22日 会場；東京電機大学北千住キャンパス

講 師；金田 豊（東京電機大学）

受講者数；35名

エ. 「オーディオトランスデューサの仕組みと基本技術」（第135回技術講習会）

期 日；2014年10月9日～10日 会場；全国家電会館

講 師；大賀寿郎（芝浦工業大学名誉教授）

受講者数；17名

オ. 「立体音響技術」（第136回技術講習会）

期 日；2014年10月24日 会場；全国家電会館

講 師；大谷 真（京都大学）

受講者数；26名

カ. 「Rを用いた統計の基礎講座」（第137回技術講習会）

期 日；2014年11月4日～5日 会場；全国家電会館

講 師；鈴木公啓（東京未来大学）、橋本貴充（大学入試センター）

受講者数；19名

キ. 「デジタル信号処理の基礎」（第138回技術講習会）

期 日；2014年11月10日～11日 会場；東京電機大学北千住キャンパス

講 師；金田 豊（東京電機大学）



- 受講者数；16名  
ク。「新しい道路交通騒音の予測モデル ASJ RTN-Model 2013（第20回音響技術セミナー）  
（大阪会場）  
期 日；2014年10月21日 会場；大阪国際会議場  
講 師；坂本慎一（東京大学），田近輝俊（環境技術研究所），  
福島昭則（ニュース環境設計），松本敏雄（小林理学研究所），  
藤本一壽（九州大学）  
受講者数；51名  
（東京会場）  
期 日；2014年10月28日 会場；東京大学生産技術研究所  
講 師；坂本慎一（東京大学），田近輝俊（環境技術研究所），  
福島昭則（ニュース環境設計），松本敏雄（小林理学研究所），  
藤本一壽（九州大学）  
受講者数；83名

(2) サマーセミナー（敬称略）

ア。「音響学の基礎と最近のトピックス」（第16回サマーセミナー）

- 期 日；2014年7月27日～29日 会場；長野県白馬・シエラリゾート白馬  
講 師；安藤彰男（富山大学），及川靖広（早稲田大学），大内康裕（早稲田大学），  
大川茂樹（千葉工業大学），小西 雅（早稲田大学），坂本修一（東北大学），  
猿渡 洋（東京大学），中村健太郎（東京工業大学），星 和磨（日本大学），  
山崎芳男（早稲田大学）  
受講者数；43名

(3) ビギナーズセミナー（敬称略）

活性化・若手育成委員会（猿渡 洋委員長）で初学者を対象にビギナーズセミナーを開催した。2014年春季研究発表会では「初めての科学論文投稿 ～君も研究成果を世界へ発信しよう！～」をテーマとして，2014年秋季研究発表会では「研究あるある ～研究生活にまつわるエトセトラ～」をテーマとして実施した。

## 1 1. 出版事業

- (1) 出版委員会に属する3つの編集委員会，音響テクノロジーシリーズ編集委員会（坂本慎一委員長），音響入門シリーズ編集委員会（羽田陽一委員長），音響サイエンスシリーズ編集委員会（平原達也委員長）において，それぞれ企画内容について審議し，出版した。なお，平成26年度の発行状況は以下の通りである。

ア. 音響サイエンスシリーズ

- ・ ピアノの音響学 (音響サイエンスシリーズ9) (2014/08/28 発行)
- ・ 音場再現 (音響サイエンスシリーズ10) (2014/12/10 発行)
- ・ 視聴覚融合の科学 (音響サイエンスシリーズ11) (2014/11/06 発行)
- ・ 音声は何を伝えているかー感情・パラ言語情報・個人性の音声科学ー (音響サイエンスシリーズ12) (2014/12/22 発行)

- (2) 音響キーワードブック編集委員会(中村健太郎編集委員長)において，収録するキーワードの収集を行うなど刊行準備を行った。

## 1 2. 学会電子化推進に関する活動

電子化・広報委員会（大鶴 徹委員長，武田一哉副委員長）において，Web，メーリングリスト，Facebook 及び Twitter(研究発表会会場)を利用した各種会員サービスを行った。

## 1 3. 会勢拡大及び広報に関する活動

- (1) 会勢拡大委員会(亀川 徹委員長，苜木禎史副委員長)において，会員の増加策等会勢の拡大につながる諸策を検討し，今期は，非会員の勧誘をはかるために，各研究委員会と連携をとりながら，非会員が所属する学会と連携して研究会等を企画することを，学術委員会で提案し，実施した。また，実施状況についてアンケート調査を行った。

- (2) 活性化・若手育成委員会(猿渡 洋委員長)において、サマーセミナーの実施、ビギナーズセミナーの開催、学生フォーラムの活動の活性化を図る活動を行った。
- (3) 音響学入門ペディアの作成委員会(羽田陽一委員長)において、音響学に関連する基礎的であるが、難解な原理、事象について体験的に理解した過程等を解説的に説明する音響学入門ペディアの作成事業を実施した。

#### 1 4. 財政改善に関する活動

- (1) 財務改善委員会(蜂屋弘之委員長, 河井 恒副委員長)において、賛助会員のメリットの整理・追加を行い、入会の勧誘を行った。また、研究発表会ポスターセッションの空きコマを有効に活用するため、賛助会員にポスター展示の希望を募り、実施した。
- (2) 2015年春季研究発表会において、当学会賛助会員と主に博士後期課程在学の学生会員を対象として情報交換を目的とする交流会を実施した。

#### 1 5. 通常総会の開催

第48回通常総会は、2014年5月23日、早稲田大学西早稲田キャンパスにおいて開催した。なお、出席者は、105名(うち議決権行使書の提出による出席68名)であった。

#### 1 6. 理事会, 役員会並びに委員会活動

- (1) 理事会  
平成26年度理事会は、2014年4月, 5月, 6月, 7月, 9月, 10月, 11月, 12月, 2015年1月, 2月, 3月の11回開催した。
- (2) 役員会  
平成26年度役員会は、2014年8月を除く毎月, 計11回開催した。
- (3) 企画委員会  
平成26年度企画委員会(安藤彰男委員長)は、2014年8月, 2015年3月を除く毎月, 計10回開催した。
- (4) 編集委員会  
平成26年度編集委員会(中村健太郎委員長)は、2014年5月, 7月, 9月, 11月, 2015年1月及び3月の計6回開催した。
- (5) 学術委員会  
平成26年度学術委員会(鈴木陽一委員長)は、2014年7月, 9月, 12月, 2015年3月の4回開催した。
- (6) 研究発表会準備委員会  
平成26年度研究発表会準備委員会(土屋隆生委員長)は、2014年7月, 9月, 12月, 2015年3月の4回開催した。なお、研究発表会プログラム編成委員会は、7月, 12月の2回開催した。
- (7) 広報・電子化委員会  
平成26年度広報・電子化委員会(大鶴 徹委員長)は、2014年9月, 2015年3月の2回開催した。
- (8) 事業委員会  
平成26年度事業委員会(片岡章俊委員長)は、2014年9月, 2015年3月の2回開催した。
- (9) 国際渉外委員会  
平成26年度国際渉外委員会(竹内真一委員長)は、2014年9月に開催した。
- (10) 出版委員会  
平成26年度出版委員会(牧野昭二委員長, 安藤彰男委員長代理)は、2014年9月, 2015年

3月の2回開催した。

### 17. 他学協会等からの共催等依頼

区 分	件 数	摘 要
共 催	1 件	(一社)電子情報通信学会
協 賛	45 件	(公社)計測自動制御学会ほか
後 援	1 件	(一社)日本オーディオ協会
計	47 件	

### 18. 支部所属会員

#### (1) 関西支部

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数(A)	2015. 3. 31 現在数(B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数(C)	前年度末との 対比(B-C)
名誉会員	6	6	0	6	0
終身会員	19	19	0	13	6
正 会 員	515	487	△28	515	△28
学生会員	203	178	△25	208	△30
(合計)	743	690	△53	742	△52

#### (2) 東北支部

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数(A)	2015. 3. 31 現在数(B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数(C)	前年度末との 対比(B-C)
名誉会員	3	3	0	3	0
終身会員	9	10	1	9	1
正 会 員	150	143	△7	148	△5
学生会員	74	61	△13	76	△15
(合計)	236	217	△19	236	△19

#### (3) 東海支部

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数(A)	2015. 3. 31 現在数(B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数(C)	前年度末との 対比(B-C)
名誉会員	1	1	0	1	0
終身会員	11	11	0	9	2
正 会 員	296	280	△16	292	△12
学生会員	102	100	△2	103	△3
(合計)	410	392	△18	405	△13

#### (4) 九州支部

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数(A)	2015. 3. 31 現在数(B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数(C)	前年度末との 対比(B-C)
名誉会員	0	0	0	0	0
終身会員	6	6	0	4	2
正 会 員	178	175	△3	175	0
学生会員	61	80	19	66	14
(合計)	245	261	16	245	16

## (5) 北陸支部

会員種別	平成 26 年度			参 考	
	2014. 4. 1 現在数(A)	2015. 3. 31 現在数(B)	年度内の増減 (B-A)	2014. 3. 31 現在数(C)	前年度末との 対比(B-C)
名誉会員	0	0	0	0	0
終身会員	1	1	0	1	0
正会員	69	62	△7	65	△3
学生会員	48	40	△8	49	△9
(合計)	118	103	△15	115	△12

## 19. 支部の事業

## (1) 関 西 支 部

## ア. 支部役員会

支部役員会は、2014年4月、6月、10月、12月、2015年1月、3月の6回開催。

## イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	26. 4. 26	海遊館	出席者 141 名(うち委任状 113) / 定足数 107 名
講演会・見学会	26. 4. 26	海遊館	西田館長による講演「海遊館の使命」 バックヤード・一般展示スペースの見学 参加者 47 名
聴覚研究会	26. 5. 30 ～ 31	同志社大学京田辺キャンパス	発表 16 件 参加者 76, 70 名
建築音響研究会	26. 7. 16	キャンパスプラザ京都	発表 5 件 参加者 24 名
講演会・見学会	26. 10. 16	あべのハルカス	竹中工務店による講演「あべのハルカスの建築設計概要」あべのハルカス ATMD, オフィスロビー, 展望台などの見学 参加者 45 名
音声・聴覚研究会(共催)	26. 10. 23 ～ 24	和歌山県白浜温泉ホテルシーモア	発表件数 18 件 参加者 52, 53 名
音楽音響研究会	26. 12. 13	キャンパスプラザ京都	発表件数 5 件 参加者 27 名
第 17 回若手研究者交流研究発表会	26. 12. 14	関西大学 100 周年記念会館	講演会, ポスターセッション, 懇親会 発表 44 件 参加者 143 名
Deep learning と音響分野への応用	26. 12. 15	立命館大学大阪梅田キャンパス	発表 5 件 参加者 20 名
建築音響研究会	27. 1. 13	関西大学 100 周年記念会館	発表 5 件 参加者 27 名
騒音・振動研究会	27. 1. 19	関西学院大学大阪梅田キャンパス	発表 6 件 参加者 13 名
関西企業における音響技術の研究開発	27. 3. 26	近畿大学会館	発表 6 件 参加者 40 名
超音波・電気音響研究会(併催)	27. 1. 28 ～ 29	同志社大学今出川キャンパス	発表件数 20 件(超音波), 13 件(電気音響), うち 10 件共通講演 参加者 51 名, 48 名

## (2) 東 北 支 部

## ア. 支部役員会

支部役員会は、2015年2月に開催。

イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	26. 4. 23	東北大学大学院工学研究科	
第 1153 回学術講演会	26. 4. 23	東北大学工学部	「安全と安心のための先進超音波計測」 講師 山中一司 氏(東北大学) 来聴者 200 名
第 1158 回学術講演会	26. 8. 1	東北大学電気通信研究所	「日常を劇場へー映像と音響による情報空間のデザイン プロジェクトマッピングの事例からー」 講師 森内大輔 氏(NHK エンタープライズ) 来聴者 21 名
電気関係学会東北支部連合大会	26. 8. 21 ～ 22	山形大学	発表件数 260 件, セッション数 39, 参加者 550 名 (のべ) 特別講演「上杉鷹山の思想と治世」 講師: 阿部哲人 氏(上杉博物館) 来聴者 120 名
音声研究会	26. 7. 24. ～ 26	ホテル花巻	
電気音響・聴覚研究会	26. 8. 19 ～ 20	東北学院大学	
超音波研究会	26. 9. 29	山形大学	
平成 27. 年東北地区若手研究者研究発表会(共催)	27. 2. 28	日本大学工学部	「音・光・電波・エネルギー・システムとその応用」
東北大学電気通信研究所一般公開 2014(後援)	26. 10. 4 ～ 5	東北大学電気通信研究所	来聴者 803 名

ウ. 若手研究者優秀論文賞受賞者

東北支部が主催又は共催した若手研究者発表会, 電気関係学会支部連合大会における若手研究者を対象として応募者を募り特に優れたものを表彰した。今年度の受賞者は 5 名であった。

(3) 東 海 支 部

ア. 支部役員会

支部役員会は, 2014 年 3 月, 12 月に開催。

イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会・講演会	26. 3. 31	名城大学 MSAT	出席者 16 名 参加者 16 名(講演 2 件)
騒音・振動研究会(後援)	26. 5. 28	名城大学天白キャンパス	参加者 47 名 講演件数 5 件
東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会(後援)	26. 8. 9	名古屋工業大学	参加者 145 名 講演件数 43 件
電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	26. 9. 8 ～ 9	中京大学名古屋キャンパス	参加者 1255 名 シンポジウム 3 テーマ 一般講演 563 件 音響学会関連発表 7 件
超音波研究会	26. 10. 22	静岡大学浜松キャンパス	参加者 20 名 講演軒数 8 件

建築音響，騒音・振動関連若手研究発表会	26. 11. 1	愛知工業大学本山キャンパス	参加者 10 名 講演 5 件
支部見学会	26. 11. 5	ヤマハ(株)豊岡工場	参加者 21 名
支部技術講習会	26. 11. 19	名城大学天白キャンパス	参加者 35 名 講演 2 件
聴覚研究会(後援)	26. 11. 27 ～ 28	豊橋技術科学大学	参加者 28. 名, 25 名 講演件数 10 件
2014 年度学生表彰式・パーティー	26. 12. 15	ルブラ王山	出席者 17 名 (うち表彰学生 4 名)
音声研究会(後援)	27. 1. 22	岐阜市じゅうろくプラザ	参加者 25 名 講演 8 件
電子情報通信学会平成 26. 年度専門講習会(協賛)	27. 3. 19	キャスルプラザ	参加者 62 名

#### (4) 九 州 支 部

##### ア. 支部役員会

支部役員会は，2015 年 3 月に開催。

##### イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
騒音・振動研究会	26. 8. 29	長崎大学	
電気・情報関係学会九州支部連合大会	26. 9. 18 ～ 19	鹿児島大学	講演申込 578 件 (うち音響・音声部門 18 件)
音響教育研究会	26. 10. 23	熊本大学	
音声研究会	26. 11. 13 ～ 14	九州大学	
電気音響研究会	26. 7. 29 ～ 30	九州大学	
建築音響研究会	26. 12. 18	九州工業大学	
聴覚研究会	26. 12. 20 ～ 21	福岡市 休暇村志賀島	
KYJCA2015	27. 1. 10	長崎大学	
騒音・振動研究会	27. 2. 20	九州大学	
音声／電気音響研究会	27. 3. 2 ～ 3	石垣島	
騒音・振動研究会	27. 3. 6	沖縄産業支援センター	
第 48 回知覚コロシウム	27. 3. 6 ～ 8	日田市	国際五感シンポジウム併催
支部総会	27. 3. 28	九州大学	出席者 37 名(うち委任状提出者 16 名)

##### ウ. 学生表彰

九州支部が主催又は共催した研究発表会，研究会等における学生の発表を対象として応募者を募り特に優れたものを表彰した。今年度の受賞者は 6 名であった。

#### (5) 北 陸 支 部

##### ア. 支部役員会

支部役員会は，2014 年 4 月，6 月，10 月，2015 年 1 月，3 月に開催。

##### イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	26. 4. 12	金沢大サテライト・プラザ	出席者 38 名(うち委任状提出者 16 名)
聴覚・音声・福祉情報工学研究会	26. 6. 19 ～ 20	近江町交流プラザ	講演 15 件 参加者 75 名

電気関係学会北陸支部 連合大会	26. 9. 11 ～ 12	富山高専本郷キャンパ ス	音波・音響関係部門 講演3件(うち招待講演1件) 学生優秀論文発表賞1件
超音波研究会	26. 11. 13	金沢工業大学	講演8件 参加者43名
騒音・振動研究会	26. 11. 28	金沢工業大学	講演6件 参加者16名
音楽音響研究会	26. 11. 29 ～ 30	金沢工業大学	講演18件 参加者77名
第5回北陸合同音響セミナー「人の歌声・機械の歌声」	26. 11. 30	金沢工業大学	講演会 剣持秀紀氏(ヤマハ) 齋藤 毅氏(金沢大学) 参加者 134名
第6回北陸合同音響セミナー「分野交流講演会」	27. 3. 21	ホテル金沢	講演会 直江学美(金沢星稜大学) 森原 崇(石川公園), 太田和彦(金沢工業大学), 船田哲男(金沢大学OB) 参加者 18名
電気音響研究会	26. 12. 12 ～ 13	金沢大学サテライト・プラザ	講演21件(招待講演2件) 参加者81名
北陸地区学生による研究発表会	27. 3. 7	富山高専射水キャンパス	音波・音響部門発表7件

## 事業報告書の附属明細書

特に記載すべき重要な事項はありません。